

付属資料 1 - 2 A			1次					2次													結果
No.	州名		GSDP, current prices (1千万INR)		人口		重要 湿地	GSDP成長率		経済特区		日本からのアクセス性		教育機会		環境		第二次産業（2014）			
			2021-22年	10位以内	2016(推計) *1	10位以内	有/無	10州の平均 (18.2) 以上で加	2021-2022年 (%)	有/無	産業分野	10州の平均 (15.45時間) 以内で加 点	滋賀から州都までの所要時間	国内大学 数10位以 内	州内大学数 (2020)	100ha以上の重要湿地において課題に 琵琶湖との類似性が4つ以上ある湿地	(補足) 100ha以上の環境・ 森林・気候変動省が位置付け る国際的重要湿地数（うち、 ラムサールサイト数）	10州の平均 (8.7%以上で 加点)	各州製造業企業数の インド全土に占める 割合（%）		
1	Uttar Pradesh	ウッタールプラデシュ州	1,916,913	○	220,671,000	○	○	×	16.8	○	工芸品、太陽光発電、IT、繊維	○	14.5時間、DEL經由LKO着	○	81	○	Haiderpur Wetland, Upper Ganga River (Brijghat to	21 (10)	○	13.6	5.0
2	Maharashtra	マハラシュトラ州	3,108,022	○	121,951,000	○	○	○	18.3	○	IT、医薬品、バイオテクノロジー、 電子部品、電力	○	15.5時間、DEL經由BOM着 (NRT-BOM直行便は11時間)	○	65	×	-	7 (3)	×	8.1	4.0
3	West Bengal	西ベンガル州	1,363,926	○	98,182,000	○	○	×	18.0	○	宝飾品、IT	×	16時間、DEL經由CCU着、CCUから車	○	47	×	-	5 (2)	○	16.1	3.0
4	Andhra Pradesh	アンドラプラデシュ州	1,133,837	○	89,773,000 *2	○	○	○	18.5	○	医薬品、靴、製紙、IT、アパレル、 繊維、食品加工、革製品、アルミ、	×	16.5時間、DEL經由VGA着、VGAから車	○	41	○	Kolleru lake, Pulicat Lake(=Pazhaverkkadu lake),	4 (1)	○	9.41*2	5.0
5	Madhya Pradesh	マディヤプラデシュ州	1,136,137	○	80,345,000	○	○	×	18.1	○	IT、（マルセクター）	○	14.5時間、DEL經由BHO着	○	66	○	Sakhya Sagar (=Chandpatha Lake)	11 (5)	×	5.1	4.0
6	Tamil Nadu	タミルナドゥ州	2,065,436	○	78,143,000	○	○	×	14.2	○	電子部品組立、IT、靴、自動車関連 部品、繊維、バイオテクノロジー、	×	16時間、DEL經由MAA着	○	59	○	Pallikaranai Marsh Reserved Forest (=Kazhuveli), Gulf of	16 (11)	○	9.6	4.0
7	Rajasthan	ラジャスタン州	1,218,193	○	76,330,000	○	○	○	19.5	○	宝飾品、繊維、IT	○	14時間、DEL經由JAI着	○	89	×	-	11 (4)	×	3.7	4.0
8	Karnataka	カルナタカ州	1,962,725	○	66,240,000	○	○	○	20.8	○	IT、バイオテクノロジー、繊維、電 子部品、宇宙産業	○	17時間、DEL經由BLR着、BLRから車 (NRT-BLR直行便は10時間)	○	69	×	-	8 (3)	×	5.0	4.0
9	Gujarat	グジャラート州	1,957,583	○	66,489,000	○	○	○	19.6	○	アパレル、医薬品、IT、繊維、エン 지니어リング、化学、自動車、ソー	○	15時間、DEL經由AMD着、AMDから車	○	76	×	Wadhvana Wetland	14 (4)	×	8.2	4.0
10	Telangana	テランガナ州	1,112,456	○	89,773,000 *2	○	○	○	18.2	○	宝飾品、IT、バイオテクノロジー、 電子部品、医薬品	×	15.5時間、DEL經由HYD着	×	24	×	-	2 (0)	○	9.41*2	3.0
11	Bihar	ビハル州	675,448	×	117,311,000	○	○	×	15.0	○	（マルセクター）	○	15時間、DEL經由BPAT着	×	35	×	-	10 (5)	×	2.6	2.0
12	Odisha	オディシャ州	661,428	×	45,094,000	×	○	×	23.5	○	IT、アルミ、鉱物	○	15時間、DEL經由BBI着	×	32	○	Chilika Lake, Satkosia Gorge, Hirakud Reservoir	6 (6)	×	3.6	3.0
13	Kerala	ケララ州	906,921	×	34,318,000	×	○	×	17.6	○	IT、食品加工、港湾開発、太陽光発電	×	16.5時間、DEL經由TRV着	×	23	×	-	3 (3)	×	2.9	1.0
14	Jharkhand	ジャルカンド州	343,178	×	36,817,000	×	○	×	14.1	○	自動車部品、発電	○	15時間、DEL經由IXR着	×	32	×	-	2 (1)	×	2.0	2.0
15	Assam	アッサム州	412,612	×	33,973,000	×	○	×	16.7	×	-	×	15.5時間、DEL經由GAU着	×	26	×	-	17 (1)	×	1.3	0.0
16	Haryana	ハリヤナ州	870,665	×	28,009,000	×	○	×	17.4	○	IT	○	14時間、DEL經由IXC着	○	53	×	-	2 (2)	×	1.1	3.0

付属資料 1-2 B				2.5次																										
No.	州名（州都/行政首都）			渡航安全情報		琵琶湖との条件の類似性					河川水質	社会的課題解決のインパクトの大きさ			湖沼から50km圏内のインフラ				州都から湖沼までのアクセス		他自治体との関係	賃金（製造業）		日系企業の進出		JICA案件		得点		
				渡航安全レベル	湖沼近辺地域でレベル1以下	自然形成	淡水湖・水域	汽水域・クレーター湖	琵琶湖との関連課題が4つ以上	湖沼名	州内にBOD>10mg/Lの河川区間がある	100km圏内における州都の有無	100km圏内主要都市人口100万人以上	(100km圏内主要都市)	高速道路・主要道路	鉄道	港湾	空港	自動車での所要時間	2時間以内	姉妹都市のある州（ある場合、-1点）	製造業労働賃金額(Rs.) (2025)	比較対象中、最大値が平均以下	日系企業拠点数 (2024.10)	日系企業拠点の有無	案件名	比較対象中案件数が平均以上			
1	Uttar Pradesh	ウッタールプラデシュ	(Lucknow)	レベル 1	○	○	○	×	×	Sandi Bird Sanctuary	○	×	×	-	○	○	×	×	2時間40分	×	×	11021-12123	○	286	×	・ ヴァラナシ市衛生改善（2020.6） ・ アグラ上水道整備事業（2014.3）	×	7.0		
					○	○	○	×	×	Sarsai Nawar Jheel	○	×	×	-	○	○	×	×	3時間	×	×						×	7.0		
					○	○	○	×	×	Nawabganj Bird Sanctuary	○	○	○	Lucknow	○	○	×	○	1時間	○	×						×	11.0		
					○	○	○	×	×	Saman Bird Sanctuary	○	×	×	-	○	○	×	×	3時間15分	×	×						×	7.0		
					○	○	○	×	×	Samaspur Bird Sanctuary	○	×	×	-	○	○	×	×	3時間	×	×						×	7.0		
					○	○	○	×	×	Parvati Arga Bird Sanctuary	○	×	○	Gonda	○	○	×	○	3時間15分	×	×						×	9.0		
					○	×	○	×	○	Haiderpur Wetland	○	×	○	Meerut	○	○	×	×	9時間	×	×						×	8.0		
					○	○	○	×	×	Bakhira Wildlife Sanctuary	○	×	○	Gorakhpur	○	○	×	○	4時間50分	×	×						×	9.0		
○	○	○	×	○	Upper Ganga River (Brijghat to Narora Stretch)	○	×	○	Meerut	○	○	×	○	6時間40分	×	×	×	10.0												
2	Maharashtra	マハラシュトラ	(Mumbai)	一部レベル 2	○	○	○	×	×	Nandur Madhameshwar	○	×	○	Nashik	○	○	×	○	4時間10分	×	○	13635-14470	×	813	○	・ ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道建設事業・周辺開発支援（2017.9〜）	×	8.0		
					○	○	○	×	×	Bhigwan lake (Ujani lake)	○	×	○	Pune	○	○	×	×	5時間15分	×	○						×	7.0		
					○	○	×	クレーター湖	×	Lonar Lake	○	×	×	-	○	×	×	×	6時間20分	×	○						×	4.0		
3	Andhra Pradesh	アンドラプラデシュ	(Amaravati)	一部レベル 2	○	○	○	×	○	Kolleru Lake	×	○	○	Vijayawada	○	○	×	○	2時間10分	×	×	12939-15186	×	127	×	・ 灌漑・生計改善事業（2017.12）	×	8.0		
					○	○	○	×	○	Nelapattu (Nelapattu Wildlife Sanctuary)	×	×	○	Chennai (別州都)	○	○	×	×	6時間	×	×						×	7.0		
					○	○	×	汽水湖	○	Pulicat Lake (also known as Pazhaverkkadu lake)	×	○	○	Chennai (別州都)	○	○	○	○	7時間10分	×	×						×	8.0		
					○	○	×	河口域	×	Coringa Wildlife Sanctuary and Godavari Estuary	×	×	×	-	○	○	○	×	4時間30分	×	×						×	5.0		
4	Madhya Pradesh	マディヤプラデシュ	(Bhopal)	レベル 1	○	×	○	×	○	Sakhya Sagar (Local Name: Chandpatha Lake)	○	×	×	-	○	○	×	×	5時間20分	×	×	12125-13121	○	115	×	・ 地方吸水事業（2020.3）	×	7.0		
					○	×	○	×	×	Bhoj Wetland	○	○	○	Bhopal	○	○	×	○	30分	○	×						×	10.0		
					○	×	○	×	×	Sirpur Wetland	○	×	○	Indore	○	○	×	○	4時間	×	×						×	8.0		
5	Tamil Nadu	タミルナドゥ	(Chennai)	レベル 1	○	○	○	を 含む 湿地	○	Pallikaranai Marsh Reserved Forest (Local Name: Kazhuveli)	○	○	○	Chennai	○	○	○	○	45分	○	×	14004	×	583	○	・ 非感染性疾患対策（2022.4-2026.4） ・ 都市河川流域包括的洪水対策MP策定（2022.2） ・ 地下鉄建設事業（2017.3〜） ・ 海水淡水化施設建設事業（2018.3〜） ・ 都市圏高度道路交通システム整備事業（2018.3） ・ 気候変動対策生物多様性保全・緑化事業（2022.3-2023.7）等	○	14.0		
					○	○	×	汽水域	×	Pichavaram Mangrove (Local Name: Thillai Vanam)	○	×	×	-	○	○	×	×	5時間	×	×						×	○	7.0	
					○	○	×	沿岸域	×	Point Calimere Wildlife and Bird Sanctuary	○	×	×	-	○	○	○	×	8時間10分	×	×						×	○	8.0	
					○	○	×	海域	○	Gulf of Mannar Marine Biosphere Reserve (Local Name: Mannar Valaiguda)	○	×	×	-	○	○	○	×	9時間40分	×	×						×	○	9.0	
6	Rajasthan	ラジャスタン	(Jaipur)	レベル 1	○	○	○	×	×	Keoladeo National Park	○	×	○	Agra	○	○	×	○	3時間5分	×	×	7410-7722	○	177	×	・ 地方給水・フッ素症対策事業（2021.3） ・ 水資源セクター生計向上事業（2023.3） ・ 気候変動対策及び生態系から得られる利益向上事業（2024.2）	○	10.0		
7	Karnataka	カルナタカ	(Bengaluru)	レベル 1	○	○	○	×	×	Ranganathittu Bird Sanctuary	○	×	○	Mysuru	○	○	×	○	2時間	○	×	15701-16860	×	543	○	・ 上下水道整備事業（2018.1〜） ・ メトロ建設事業（2021.3） ・ ベンガルール中心地区高度交通情報及び管理システム導入計画（2018.1）	○	11.0		
8	Gujarat	グジャラート	(Gandhinagar)	レベル 1	○	○	○	×	×	Nalsarovar Bird Sanctuary	○	○	○	Gandhinagar Ahmedabad	○	○	×	×	2時間	○	○	13013-13273	○	360	×	・ ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道建設事業・周辺開発支援（2017.9〜） ・ アランソシヤ地区シップリサイクル環境管理改善事業（2017.9） ・ アーメダバードメトロ事業（2020.3） ・ 生態系再生事業（2020.3）	×	10.0		
					○	×	○	×	○	Wadhvana Wetland	○	×	○	Vadodara	○	○	×	×	3時間10分	×	○						○	×	8.0	
					○	○	○	×	×	Khijadia Wildlife Sanctuary	○	×	×	-	○	○	○	○	5時間30分	×	○						○	×	9.0	
					○	×	○	×	×	Thol Lake Wildlife Sanctuary	○	○	○	Gandhinagar Ahmedabad	○	○	×	○	1時間	○	○						○	×	10.0	

1次～2.5次 総合点
12.0
12.0
16.0
12.0
12.0
14.0
13.0
14.0
15.0
12.0
11.0
8.0
13.0
7.0
12.0
13.0
10.0
11.0
14.0
12.0
18.0
11.0
12.0
13.0
14.0
15.0
14.0
12.0
13.0
14.0

国名			インド		
地域名			ウッタールプラデシュ州	タミルナドゥ州	カルナタカ州
(選定項目)			Uttar Pradesh	Tamil Nadu	Karnataka
(指標)					
◆人口構成 ※2011年国勢調査 データ（次回調査は 2027年を予定）	労働者人口		(男) 49,846,762 (女) 15,967,953	(男) 21,434,978 (女) 11,449,703	(男) 18,270,116 (女) 9,602,481
	0-6歳人口（2026年現在は15-21歳ほど）		(男) 16,185,581 (女) 14,605,750	(男) 3,820,276 (女) 3,603,556	(男) 3,675,291 (女) 3,485,742
		比較対象中、最も多い	○	×	×
	SEZと滋賀県内企業業種との関連性		再エネ設備、IT、電子部品、ハードウェア等	電子組立部品、ITハードウェア・部品、IT、バイオテクノロジー、食品加工、重工業、鉱業等	IT、バイオテクノロジー、ハードウェア、宇宙産業、電子部品等
◆経済特区における 優先分野		有/無	○	○	○
	◆労働賃金（製造業）	ワーカーの賃金上昇率実績（2024）	8.1% ○	11.0% ×	11.5% ×
◆日系企業の進出	日本工業団地（JIT）における進出日本企業数		グレーターノイダ工業団地（日系32社） ○	ワンハブ・チェンナイ総合工業団地（日系6社） ×	トゥムクル（日系2社） ×
	(参考) 州内進出の日本企業業種（インド企業との合併等含む）	(参考) UP州：枠外リンク TN州：受領資料＋チェンナイ日本商工会理事表 カルナタカ州：バンガロール日本人会名簿	クボタ（農機）、東洋電装×ミンダ（自動車部品）、日本航空電子工業×長瀬産業（航空電子部品×化学系商社）、セイコーアドバンス（機器塗装・ガラス印刷等）	フジテック（エレベータ製造）、ニデック（モータ製造）、日吉（水処理）、メタルワン（鉱山開発～鉄鋼製造）、ヤマハ（部品・半導体・産業用※・小型浄水器）、コマツ（建機）、いすゞモーター（ピックアップトラック） 等	アイシン精機（自動車部品）、アマダ（金属加工）、朝日電装（EVリチウム部品）、パンドー化学（自動車・医療・電子関連ゴム製品）、ベルテクノ（ステンレスタタ）、ブラザー工業（電機）、キャタラー（自動車排ガス浄化触媒）、日立製作所（電機） 等
	◆中小企業のビジネス機会促進	日印中小企業連携促進のための覚書	×	×	○
	◆現地・ビジネスに係る情報アクセス性	JETRO事務所	有/無	×	○
◆対外直接投資（株式）（2024-2025） ※日本からの投資情報は得られず、全世界対象。	政府出先機関	有/無	×	○	×
	投資額（百万USD）		65.66	1,622.54	3,542.33
		比較対象中、最も多い	-	-	○
	◆開発プロジェクト	DMIC（デリー・ムンバイ間産業大動脈開発公社）プロジェクト	進出企業 有/無	ホンダ（四輪）、パナソニック、デンソー、自動車部品メーカー等 ○	- ×
◆滋賀県の成長産業との関連	CBIC（チェンナイ・バンガロール産業回廊構想）	進出企業 有/無	- ×	味の素、パナソニック、島津製作所、東芝、日産、自動車部品メーカー等 ○	トヨタ、小松、ファナック、日清食品、自動車部品メーカー等 ○
	資源循環、バイオ（例） 鶏ガラ由来廃棄物→ヒドロキシアパタイト含有物 卵殻膜→加水分解卵殻膜	経済特区にバイオ分野がある州	×	○	○
	資源循環、農業（例） 家畜廃棄物→低密度熟成土壌 廃棄物/汚泥→堆肥/活性炭	農業が盛んな州（生産品目ごとの生産トップ5地に頻出する州）	○	×	○
	新興技術、スタートアップ支援	5th edition of states' Startup Ecosystem Rankingのベストプラクティス集の各項目において、対象州にスポットライトが当たっている項目 比較対象中、最も多い	・ Institutional Support ・ Infrastructure Support ・ Ecosystem Capacity Building ・ Focus on Innovation and Sustainability ○	・ Institutional Support ・ Funding Opportunities ・ Ecosystem Capacity Building ×	・ Funding Opportunities ・ Market Access & Reach ×
◆他自治体との連携	自治体と特徴		山梨県（MOU：グリーン水素技術、人的交流、観光交流）	大阪府（MOU：貿易、投資、人材） 広島県（MOU：電子機器、IT活性化に期待） 神奈川県（MOU：自動車、電子機器、バイオテク等に期待） 高知県（MOU：R&D、サプライチェーン強化、人的交流） 愛媛県（MOU：柑橘類生産技術、水産業鮮度保持にも興味）	三重県（MOU：自動車、電子機器、機械、航空）
		比較対象中、最も多い場合に-1点	-	-1	-
	◆州内大学における研究分野	主な大学名	Indian Institute of Technology (IIT) Kanpur、Banaras Hindu University (BHU)、Aligarh Muslim University (AMU)	Indian Institute of Technology (IIT) Madras、 Anna University、 Amrita Vishwa Vidyapeetham	Indian Institute of Science (IISc)、 Manipal Academy of Higher Education (MAHE)、 Visvesvaraya Technological University (VTU)
	農学／林学／生物		○	○	○
漁業／水産		×	×	×	
工学		○	○	○	
土木		○	○	○	
衛生工学		○	○	○	
日本の大学との連携	(学術連携協定、包括交流協定)	・ IITカンブール校/北海道大、東京大、横浜国立大、神戸大、宮崎大、慶応義塾大、日本大、立命館大 ・ BHU/島根大、関西大	・ IITマドラス校/北海道大、東北大、秋田大、東京大、東京工業大、横浜国立大、長岡技術科学大、北陸先端科学大、信州大、名古屋大、豊橋技術科学大、京都大、広島大、九州大、大阪府立大、慶応義塾大、芝浦工業大、東洋大、立命館大 ・ アンナ大/横浜国立大、静岡大、広島大、大阪市立大、中部大 ・ アムリタナ/三重大、同志社大	・ IISc/横浜国立大、新潟大、北陸先端科学大、名古屋大、京都大、島根大、熊本大、法政大、明治大 ・ MAHE/広島大、九州工業大、熊本大、明治大、大阪工業大	
		○	○	○	
		×	×	×	
◆日本人学校		×	×	×	
◆各州の主力産業の特徴	注力分野		グリーン水素（2024）	自動車・電動モビリティ（タイヤ製造1位、国内自動車部品生産の35％シェア、次世代モビリティパーク拠点）	グリーン産業
	※UP州は投資方針・施策がある分野を抽出 ※TN州は資料（Shiga x Guidance-）に記載の注力分野を抽出 ※カルナタカ州は産業政策に記載の注力分野を抽出		半導体（2024）	工業団地・インフラ、エンジニアリング・生産設備（資本	電子システム設計・製造
			医薬品・医薬機器（2023）	バイオサイエンス（400社以上の医薬品・医療機器製造関連企業が集結、国内で50ある最先端研究機関のうち9つが存在）	再エネ（国内4位の再エネ導入容量）
			映像（2023）	日用品・農業・食品加工（国内2位の商品加工拠点数、主要漁港が10カ所、水産業が農業GSDPに7.5％貢献、40以上の輸出用水産加工拠点で3万人以上が就業）	GDP寄与率が高い分野 ：航空・防衛、電子部品、鉄鋼・セメント・金属製造、倉庫・物流
			食品加工（2023）	航空宇宙・防衛	人的資本投入が多い（雇用創出）分野 ：繊維・衣類、電子機器製造、製造サポート業務、観光イノベーション創出分野
			繊維・衣料品（2022）	再エネ（世界9位の再エネ出力、2030年までに2万MWキャパシティ）	：次世代モビリティ、グリーン水素、産業用ロボット、ドローン、半導体製造、AR/VR/スマート装置、医療テック、宇宙テック、バイオテクノロジー
			酪農開発・乳製品（2022）	繊維・衣料品・産業用繊維	サステナビリティ ：既存設備改修（水資源管理、高効率エネルギービルディング、CCS）、大気汚染対策装置、水域・水処理プラントの再生、産業共生*、EV充電ステーション
			養鶏開発（2022）	化学・石油化学	マイクロ・小・中企業支援
			電気自動車製造（2022）	GCC（グローバルケイバリティセンター）、AI、IT、IT活用サービス、データセンター	
			データセンター（2021、2022）、IT・IT活用サービス*（2022）	電子機器・半導体（国内コンピュータ・周辺機器の46％シェア（国内最大））	
			電子機器製造（2020、2022）	宝飾品	
			防衛・航空・航空機整備（2022）	皮革・靴製品	
			バイオエネルギー・太陽光エネルギー（2022）	重工業（2024年の重工業製品輸出2位）	
			農業輸出（2019、2021）	玩具・家具	
			観光（2022）	銀行・金融サービス	
			倉庫・物流（2022）	観光・ホスピタリティ	
			民間航空（2017）	クリエイティブ産業（デザイン/映像/広告/ゲームなど）	
			※IT活用サービス（=IteS）：コールセンター、データ入力、財務処理、調査分析業務、クラウド支援、デジタル広告運用、e-learningサービスなど幅広く含まれる概念	造船	※産業共生：企業や工場が副産物・エネルギー・水・廃熱・設備等を共有・再利用して効率を高める仕組み
	3次スクリーニング得点（○：1点）		12	9	12
	2.5次スクリーニング得点		16	18	15
	総合点		28	27	27